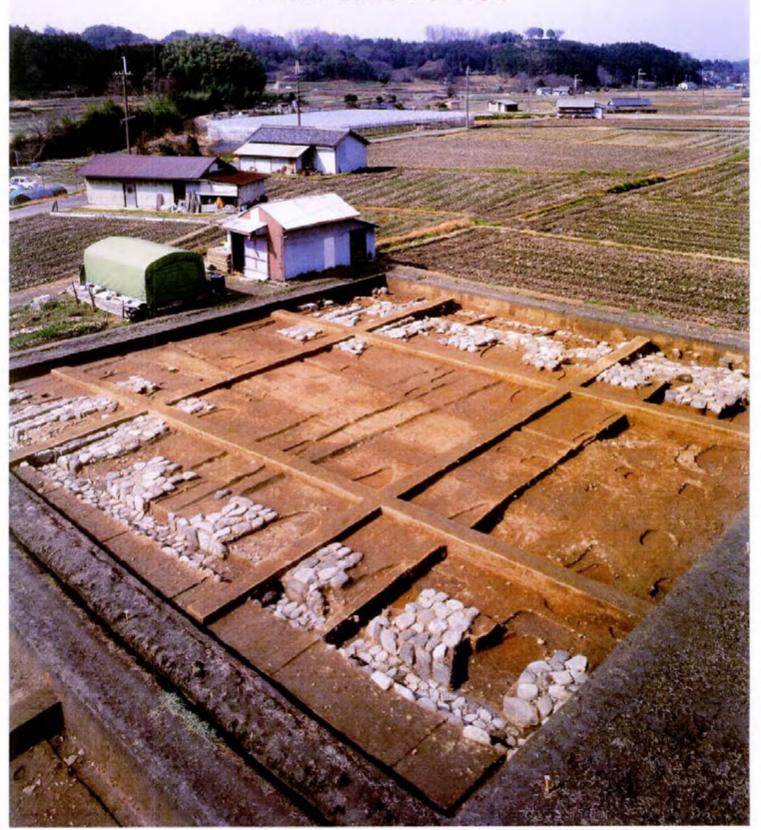
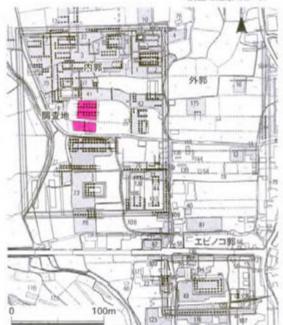
# 飛鳥京跡第155次調査 - 内郭中枢の調査2005-

奈良県立橿原考古学研究所





調査地速景(南から)



1/2,000飛鳥京跡調査位置図



2004年度の調査(西から)





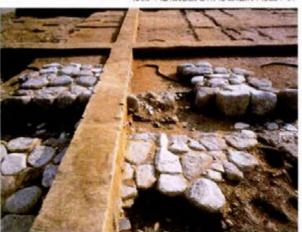
建物3(西から)



南北堀(北から)







建物1背面の石敷(北から)

### 飛鳥京跡

飛鳥京跡は奈良県高市郡明日香村岡に所在する宮殿遺跡です。これまでの調査で3時期の宮殿にかかわる遺構が検出されています。これらを下層から I 期・II 期・III 期・III 期と呼んでいます。III 期が斉明・天智の後飛鳥岡本宮(656~)、天武・持統の飛鳥浄御原宮(672~)、II 期は皇極の発鳥板蓋宮(643~)、1 期は舒明の飛鳥岡本宮(630~)とも考えられています。その中で最も構造がよくわかっているIII 期は内郭とエビノコ郭、外郭とから構成されます。内郭は内裏、エビノコ郭は大極殿、外郭は宮衙(役所)が配置された空間とも考えられています。

飛鳥京跡内郭中枢の調査は、Ⅲ期の建物配置の解明と 下層にある1期・Ⅱ期の調査を目的に2003年から実施し ています。これまでにⅢ期の大型建物と石敷広場・池状 遺構などが見つかっています。今年度は、昨年度に検出 した大型建物の北の空間にどのような建物が配置されて いたのかを調べるために発掘調査を実施しました。

### 第155次調査の成果

今回の調査ではⅢ期の掘立柱建物・掘立柱塀・石組溝・ 石敷とともに、Ⅰ期の掘立柱建物も検出しました。

Ⅲ期の掘立柱建物は、北調査区で検出されたもので、 建物1・2があります。建物1は東西4間(約12m)以上、 南北4間(約12.2m)の東西棟で、内郭の中心軸で折り返 すと、東西8間(約24m)、南北4間の大型建物となりま す。北と南に庇をもつ切妻建物です。建物1の南西隅と 北西隅には、蟾幡(旅ざお)施設があります。建物1の西 では、建物2を検出しました。東西1間(約3m)以上、 南北4間(約12.2m)で、建物1と柱筋を揃えています。 また、建物1と2は廊状建物でつながっています。建物 1・2ともに床束が検出されていますので、床をもつ建 物であったことがわかります。建物1・2の北と南には 東西方向の石組溝があります。さらに建物1・2の北に は石敷があり、東西方向の石組溝もみつかっています。 一方、建物1・2の南では、南北塀が1条だけみつかり ましたが、石敷などは検出できませんでした。もともと は石敷の広場があったものと推定できますが、中・近世

の耕作により石が取り除かれた可能性が考えられます。

1期では、南の調査区で掘立柱建物を検出しました。 Ⅲ期・Ⅲ期の建物や塀が正方位をとるのに対し、北で西 約20度前後振れています。この建物3は東西3間(約9m) 以上、南北3間(約9m)以上の大型建物です。柱穴も大 きく、柱の抜き取り穴には大量の焼土や炭が詰まってお り、この建物は焼失したものと考えられます。これと同 じ特徴をもった柱穴は、Ⅲ期の建物1の下層においても 確認しています。建物3と一連の遺構となり、東西塀と なる可能性もあります。

### まとめ

今回の調査でみつかった建物1・2は、昨年の調査で 検出した大型建物とほぼ同規模・同構造のものです。ま た、建物1と2とが廊状建物でつながること、蟾幡施設 をもつこと、その前面に広場をもつことなども共通して います。ともに藤原京への遷都にともなって廃絶してい ることが出土した土器から確認できますので、対になる ようにまったく同じ構造をした建物群が南北に配置され ていたとみて問題はありません。どちらも正殿と呼ぶべ き性格をもった建物と考えますが、南のものは内郭とい う天皇の私的空間の中でも公的な建物、今回みつかった 北の建物は、より私的な建物とみてよいと考えます。す なわち、同規模・同構造の建物ではありますが、宮の中 での性格が異なっていたものと推定されます。いずれに しても、これで内郭中枢の建物配置がほぼ確定しました。 『日本書紀』に記載された建物とどのように対応するのか も含めて、この成果をもとにこれまでの古代宮都の研究 のさらなる検討が必要となることはまちがいありません。

また、今回は「期の遺構も検出されました。とくに I 期の建物が火災焼失していることは、 I 期の宮名を示唆 する重要な成果と考えます。

3年間にわたる飛鳥京跡内郭中枢の調査で様々なこと が明らかとなりました。今後、この成果をもとに古代宮 都や律令制国家の形成過程や王権の問題について、具体 的に考えていきたいと思います。なお、本調査は飛鳥正 宮の学術調査事業として実施しました。

(林部 均・松井一晃・波多野篤)

## 飛鳥京跡第155次調査 - 内郭中枢の調査2005 - 現地説明会資料 2006年3月11日

奈良県立橿原考古学研究所

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町1番地 Tel.0744-24-1101 http://www.kashikoken.jp/(ホームページでも現地説明会の案内・説明内容をご覧いただけます)